

図書館活用教育計画

1. 目標

- ・読書の楽しさを体験させ、読書意欲を高め、読書習慣を確立する。
- ・図書館を有効に利用する方法を会得させる。
- ・図書館資料を利用し、自らの課題を追求し、解決することのできる能力を培う。

2. 取り組み

(1) 調べ学習、利用指導 ※学年ごとに図書館資料を活用した学習を計画し、実施する。

- ・「学校図書館 読書指導・情報活用指導体系表」(別紙)を参考にしながら、調べ学習、利用指導を計画し、取り組む。
- ・図書館司書は教科の指導や学習計画に対し、レファレンスサービスを行う。
※資料提供の充実を図るため、授業者は資料の依頼を1週間以上前に行う。

(2) 読書指導

①各学年の読書指導目標

- 1,2年…「楽しんで読書する」
- 3,4年…「幅広く読書する」
- 5,6年…「読書を通して考えを深める」

②読書の興味づけ

- ・お話の世界を楽しむために、絵本の読み語りを大切にする。
- ・地域の人々によるお話会を年1回程度行う。
- ・6月と10月に、読書月間を設定し、読書活動の推進につとめる。

③読書習慣の育成

- ・日常的に学校図書館を利用し、読書の機会を充実させる。
- ・学級の中で読書の時間を作る。(朝の読書も含む。)
- ・家庭での読書の時間を勧める。(「家読」週間)

④具体的な取り組み

図書的时间

- ・週1時間程度、図書館を活用する授業の時間(読書・図書館資料を活用する時間)として、設定する。
- ・図書的时间は必ず授業者が図書館まで引率し、学習時間として指導を行う。
- ・授業者が図書館資料を使った学習や読書指導、利用指導をおこない、図書館司書はそれらの学習が効果的に行えるように支援する。

朝の読書

- ・毎朝8:30~約10分間、全校で朝の読書活動に取り組む。(児童朝礼のある日を除く)
- ・朝読は事前に必ず読む本を用意しておく。(絵本や物語、伝記など)
- ・朝読の時間に、できるだけ教師も一緒に読書をする。